

川學畫本

第五編

團二社支店印行

172
9
507

大日本圖書會社		
室	第	
→ 四冊	二三六號	一六函
	六架	

明治十九年四月七日

臨本ヲ撰テ不教授
以テ児童ヲ誦サシ待
テテ其ノ意ヲ解シテ
之ヲ厭ミ不クシテ

第一編ヨリ第七編ニ至ルマテ本版ヲ用ヒ
第八編ヨリ以下石版ヲ用ルハ初學ノモノ
入門ノ際ハ筆ヲ使フコト堅固ニシテ明白ナ

スヘキヲ採リ解シ難キヲ去リ目ニ慣レタルヲ

集メ平易簡單ナルヲ主トシテ一ニ児童ノ力ニ

適センコトヲ務メタリ故ニ夫ノ杜撰ニ集寫シテ

教授法ノ順序ヲ紊リ若クハ洋版ヲ翻刻シ

テ其精神ヲ失フノ類トハ識者自ラ其異ナ

ル所アルコトヲ知ル可シ

第一編ヨリ第七編ニ至ルマテ本版ヲ用ヒ

第八編ヨリ以下石版ヲ用ルハ初學ノモノ

入門ノ際ハ筆ヲ使フコト堅固ニシテ明白ナ

ラシムルコトヲ習熟セシメノ稍々運筆ノ自在ヲ得ルニ及ンテ線條ヲシテ韻致ヲ生セシメント欲スレハナリ

一此編名称ヲ掲クルモノハ傍ラ洋語ヲ挾ミテ臨画ノ際傍ラ單語ヲ習熟センメント欲ス是又編者ノ微意ノミ

一此編頗ル外負ヲ装フコトヲナサス専ラ簡畧ヲ主トセルハ山村僻邑ニ至ルマテ画學ノ切ヲシテ洽子カラシメント欲スレハナリ

明治十九年二月

編者識

臨畫心得

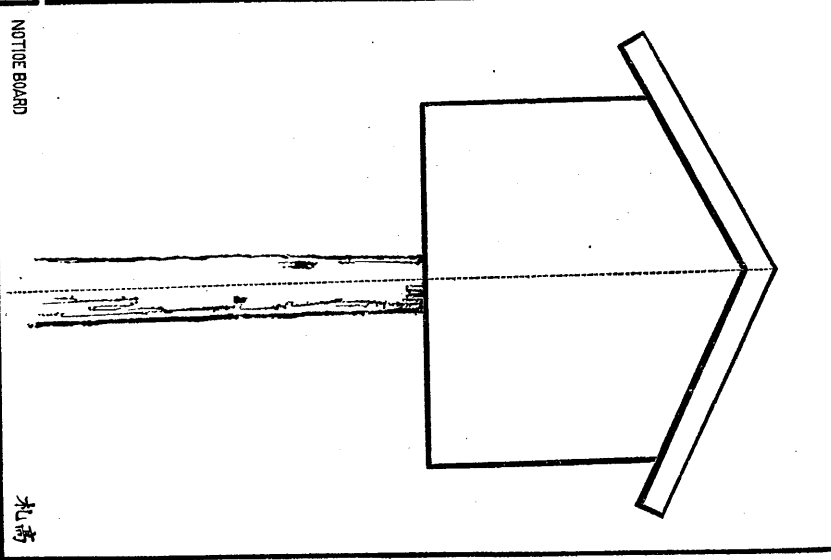
一画ヲ臨スルニハ須ラク原本ニ模倣シテ今毫モ違フコトアル可ラス

一画紙ハ臨本ト同状ノモノヲ用フヘシ若シ紙幅ヲシテ放大ナラシムル片ハ畧其比例ヲ同ウスヘシ但シ其大サヲ臨本ヨリ縮小セサルコトヲ要ス

一総テ画ヲ臨スルニハ先ツ虚線ヲ以テ其位置形狀ヲ定メ次ニ大体ヲ組立ル所ノ諸線ヲ画キ而テ細小ノ部ニ及ホス可シ然レ後彈性脂ヲ以テ一回ニ揩拭シ僅ニ筆痕ヲ餘スヲ以テ度トナシ然レ後實線ヲ施スヘシ
一虚線ヲ画クニハ其實稍々坚硬ナル鉛筆ヲ尖銳ニシ筆ヲ使フコト輕カラシメテ麁麁或ハ彈性脂ヲ以テ揩拭シ易カラシム可シ

一筆ヲ下タスハ左ノ方ヨリ始メ漸次ニ右ノ下方ニ画キ終ルヘシ然ラザレハ運筆ノ際紙面ヲ穢スニ至ル可シ

一筆ヲ執ル宜シク直立ナラシム可シ若シ之ヲ傾ケテ
其側辺ニ於テ画クノヲナセハ線條薄弱ニテ生氣ヲ
失フ可シ

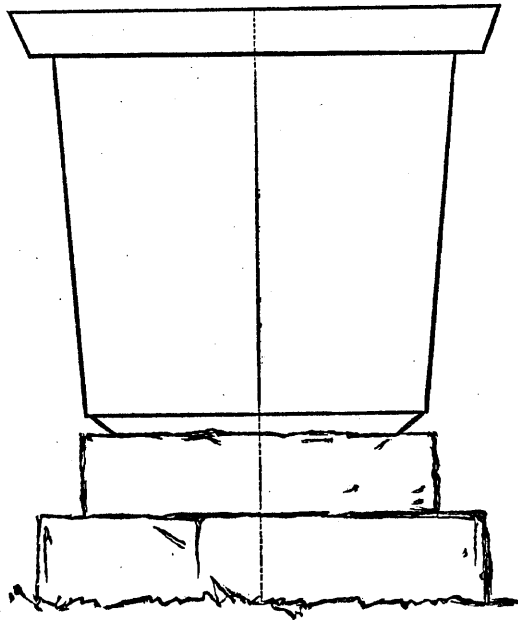


圖一第編五第

NOTICE BOARD

札高

圖二第編五第

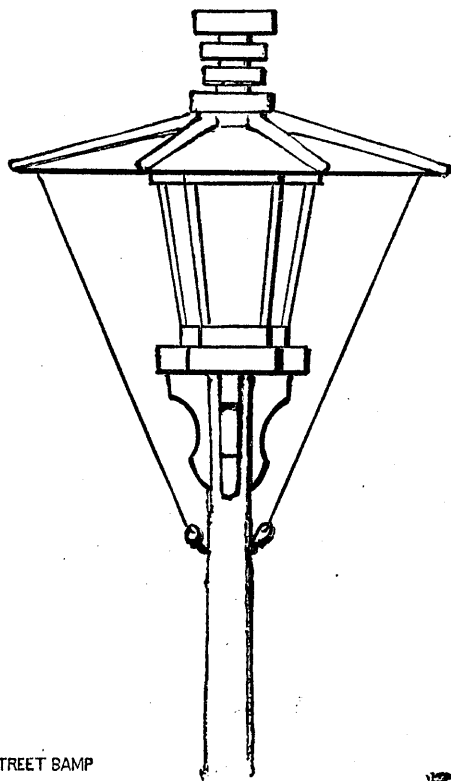


WATER BASIN

盤水

圖二第編五第

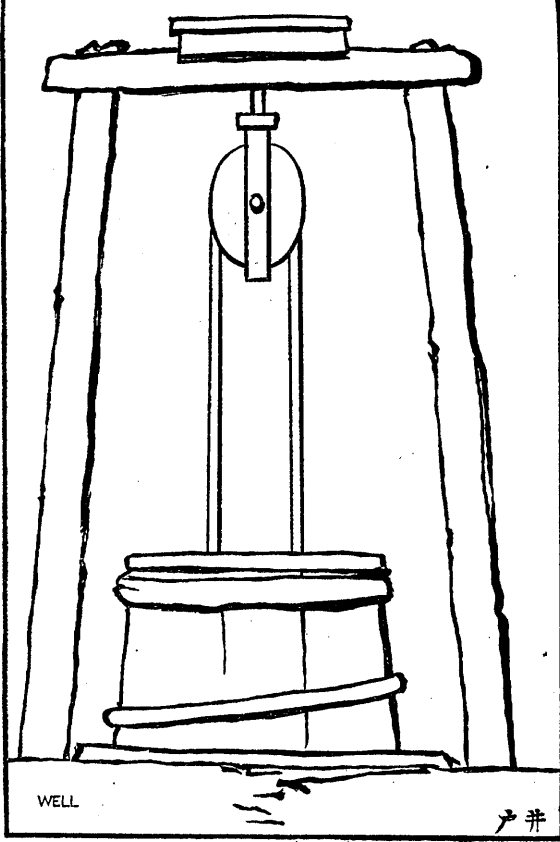
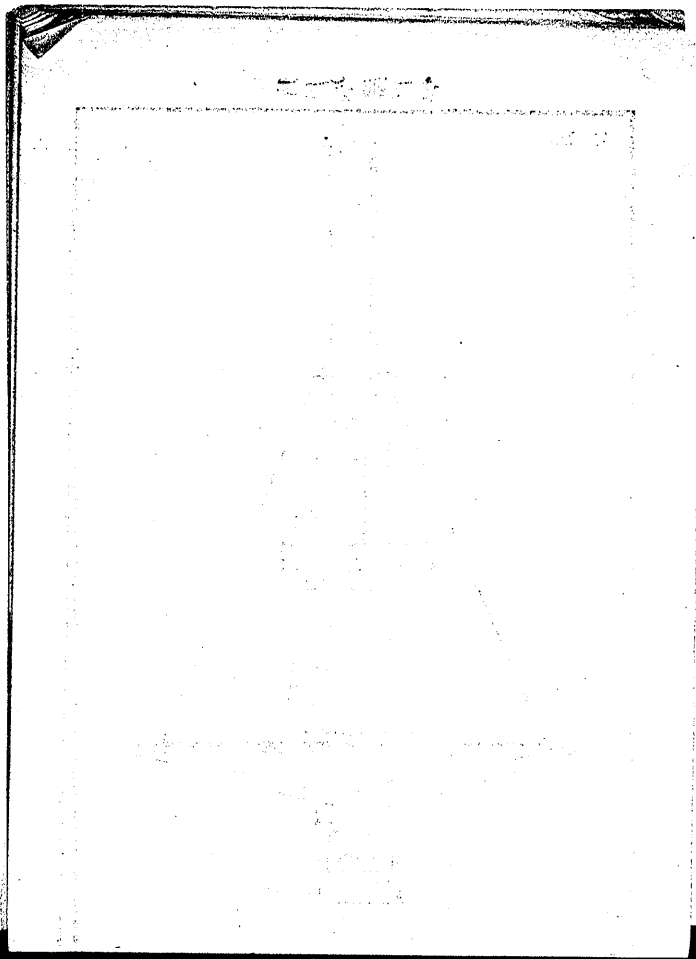
五等編三第



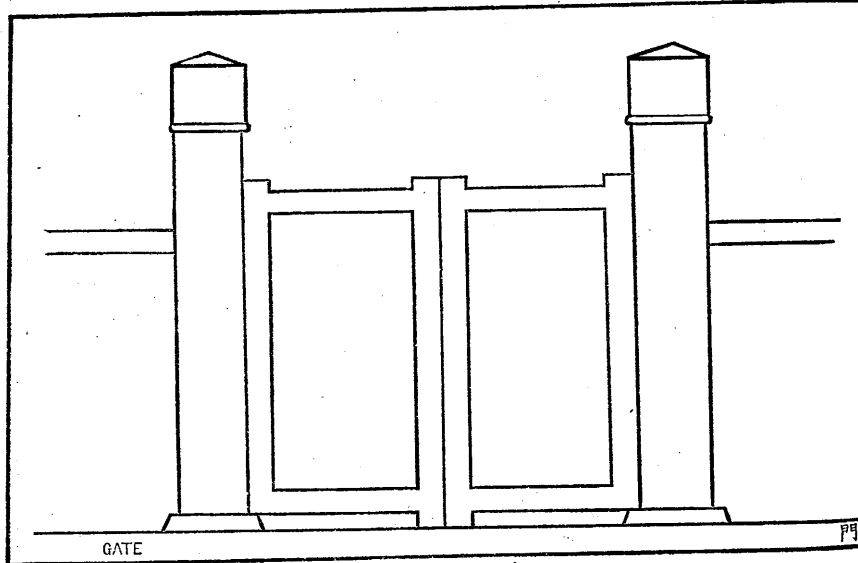
STREET BAMP

燈止

圖三第編五第



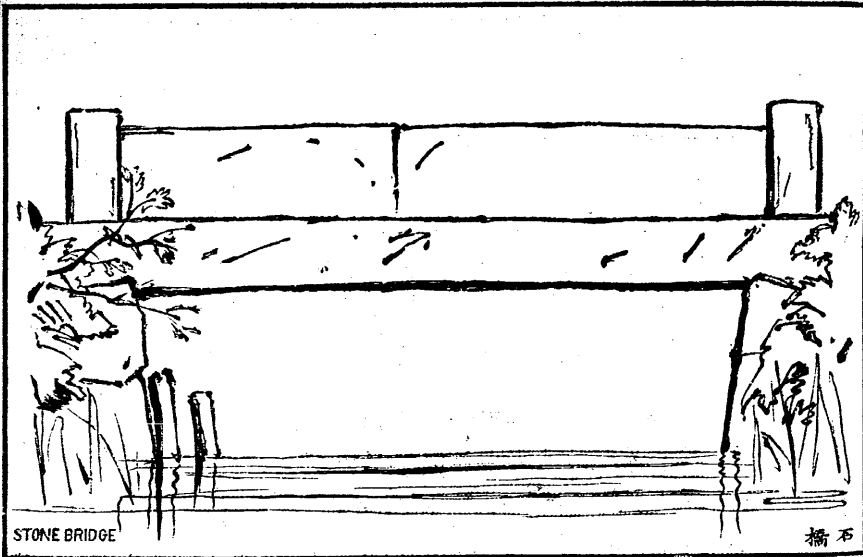
第五編第四圖



GATE

門

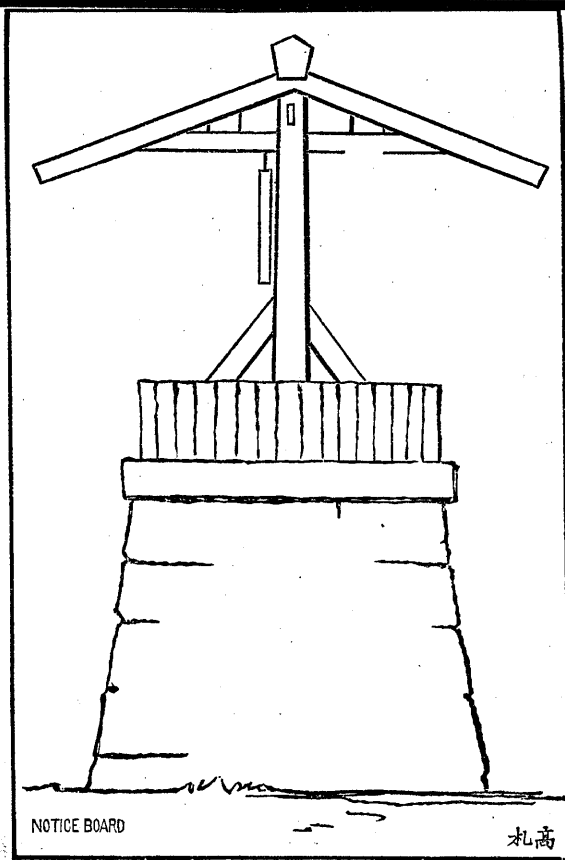
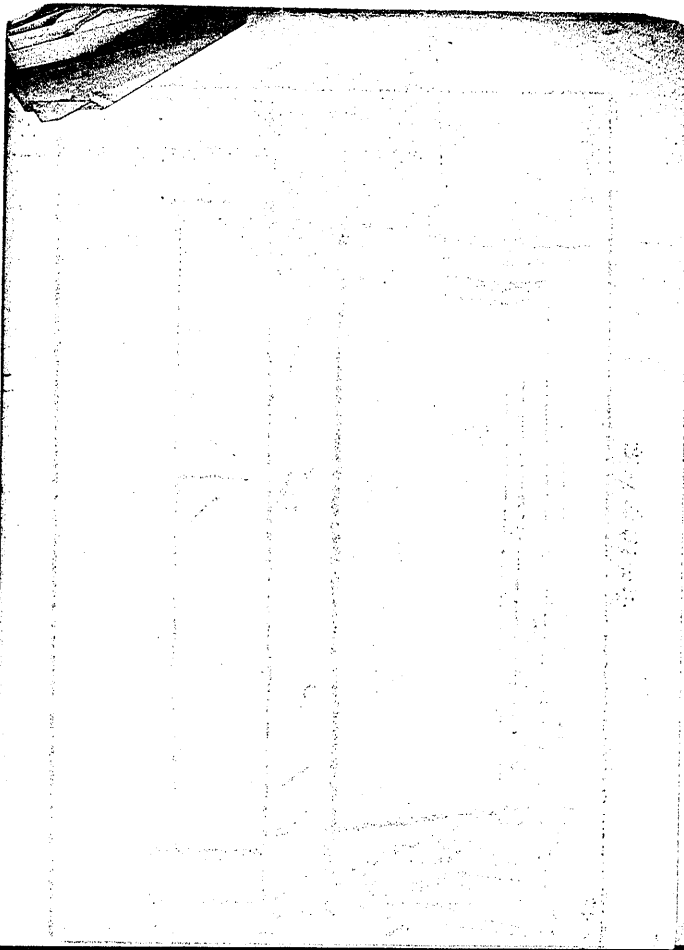
圖五第編五第



STONE BRIDGE

橋石

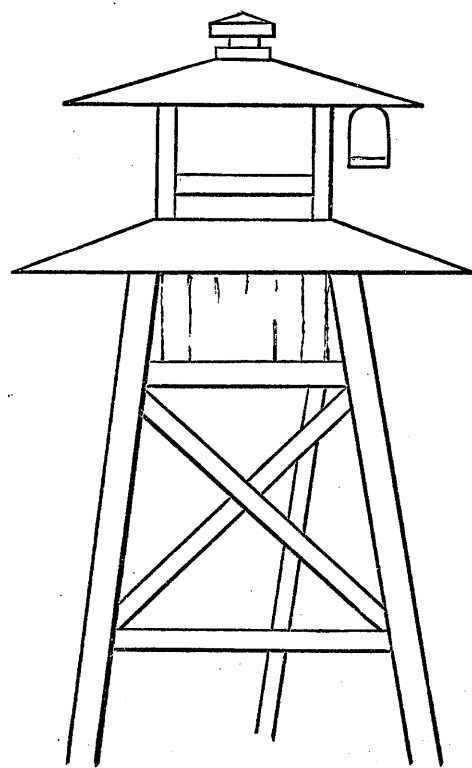
圖六第編五第



NOTICE BOARD

札高

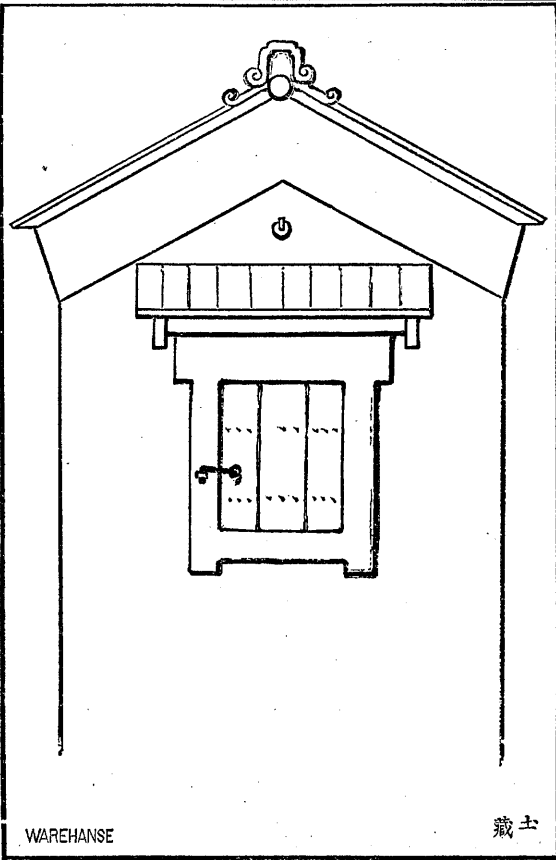
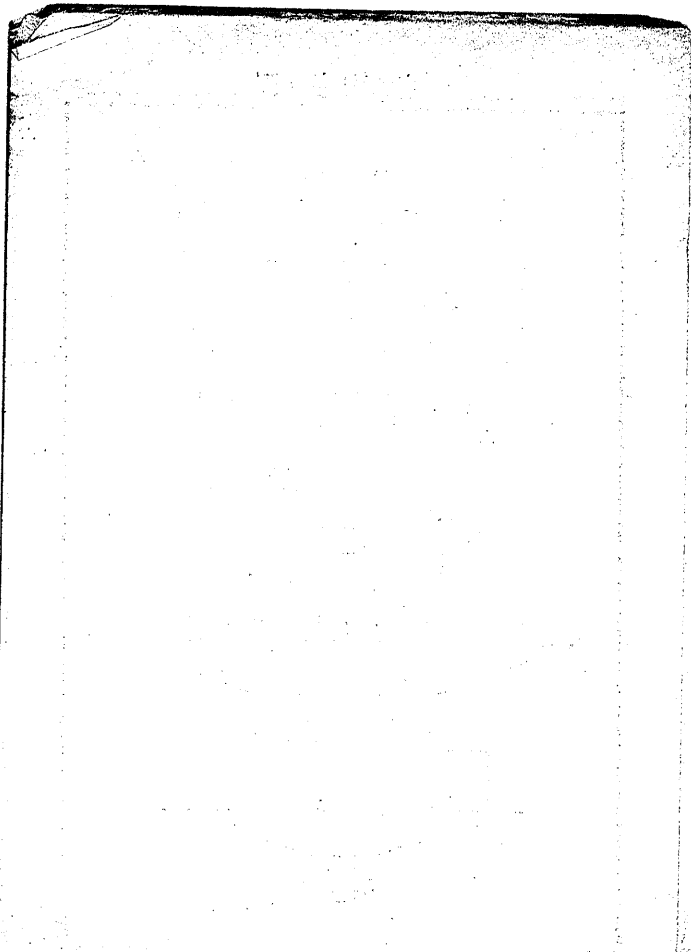
圖七第 編五第



FIRE TOWER

火見檣

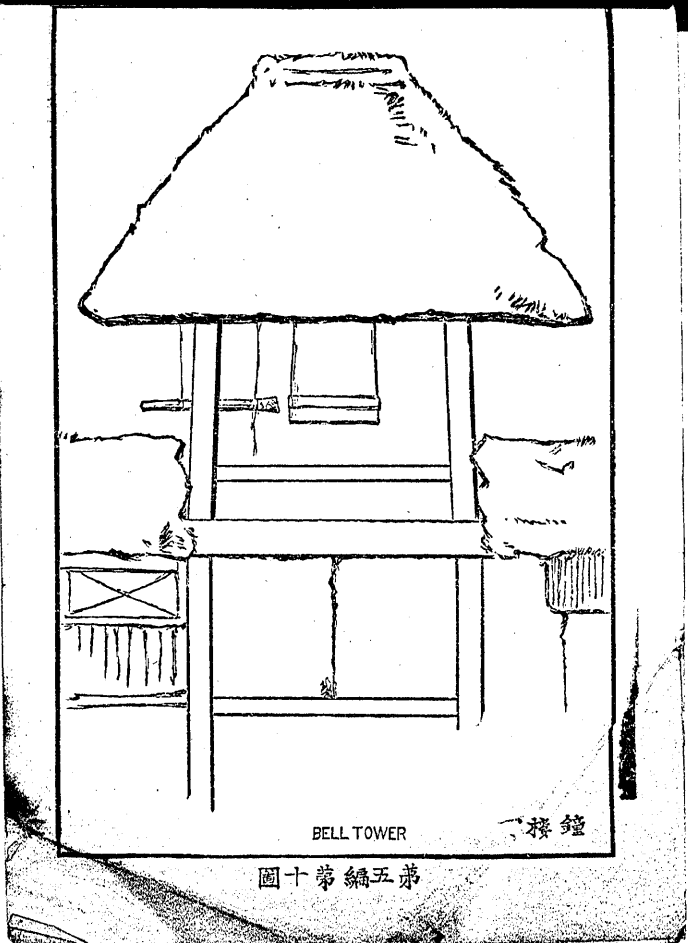
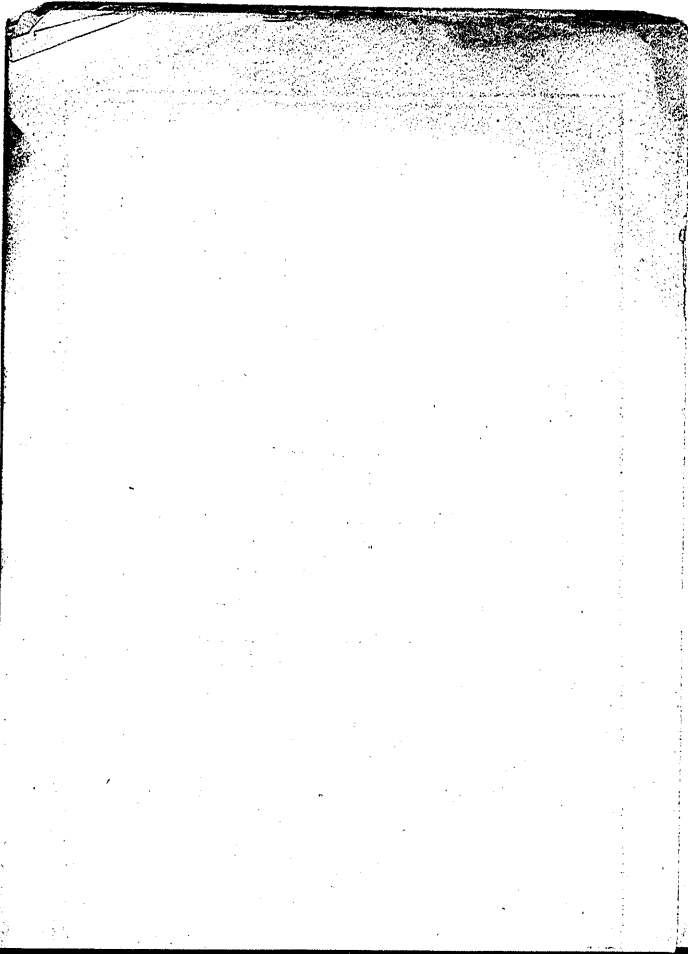
第五編 第八圖



WAREHANSE

藏土

圖九第編五第



BELL TOWER

鐘樓

第五編第十圖

全篇目次

- 第一編 直線曲線及單形 第二編 紋画
- 第三編 花葉前画 第四編 器具前画
- 第五編 家屋橋梁寺前画 第六編 器具輪廓
- 第七編 全前 第八編 家屋橋梁寺輪廓略画
- 第九編 器具施影 第十編 花卉施影
- 第十一編 景物施影畧画 第十二編 樹画略画
- 第十三編 景色畧画 第十四編 全前
- 第十五編 禽獸虫魚 第十六編 人物畧画

明治十九年一月廿三日 版權免許
全 年四月 出版

定價金錢五厘

著者

東京府士族 本 友 錦 吉 郎

出版人

全

榎本 徹之助

神田區雉子町卅二番地

牛込區新小川町三丁目七番地